

富士通ラーニングメディア研修報告

2010/09/03 後藤 広紀

1. 概要

日時：平成 22 年 8 月 25 日（水） 10:00～8 月 27 日（金）17:00

会場：品川インターシティ B 塔 12 階

内容：

コース名「業務分析・設計のための業務モデリング 実践トレーニング」

システム開発における業務モデリングの必要性

プロセスモデリングの観点、表記法、手順習得

データモデリングの観点、表記法、手順

プロセスおよびデータの整合性確認

各種演習

2. 報告内容

1) 業務モデリング概要

業務モデリングとは業務を抽象化し、可視化することである。

業務モデリングを行うことにより、業務における曖昧な問題を整理し、合意を得ながら作業を進めることができ、認識の違いから生じる問題を未然に防ぐことが出来る。具体的には、業務の流れを可視化する「プロセスモデリング」と業務で扱うデータを可視化する「データモデリング」がある。

2) プロセスモデリングについて

プロセスモデリングでは、業務を階層的にとらえ、各階層に対してフローを作成する。業務環境及び業務の全体的なフローを表し、分析対象範囲を決定するために作成する「外観業務フロー」、業務の大局的な流れを表すために作成する「業務フロー」、業務フロー中の 1 つのプロセスに着目し、詳細な作業の流れとそれを支援するシステムの処理を表した「システム化業務フロー」の 3 つが存在する。

3) データモデリングについて

データモデリングでは、エンティティの抽出を行い、それぞれのエンティティの関連を把握、各エンティティ属性の把握、問題点の把握を行う。

データモデリングのアプローチ方法として、顧客へのインタビューや業務マニュアルなどを参考に、業務全体からモデリングを行うトップダウンアプローチと、すでにあるシステムの画面、業務の帳票等を元にモデリングを行うボトムアップアプローチが存在する。

4) プロセスとデータの整合性の確認

プロセスとデータの整合性の確認とは、プロセスモデリング、データモデリングそれぞれで作成したモデルを組み合わせ、互いに矛盾がないかの検証を行う。

プロセスとデータの整合性の確認方法としては CRUD マトリックスを作成する。

3. 所感

業務モデリングという、実際の業務では経験を積むことが難しい出来事を、短い期間で体験することが出来き、非常に有意義な研修であったと思う。

また、研修全体として、座学の時間よりグループでの演習時間の方が多く、実際にやりながら体で覚えるといったスタイルの研修であったため、充実した研修期間を送ることが出来た。

以上